

中部経済産業記者会、
瀬戸市記者会、豊田市政記者クラブ、
豊田市政記者東クラブ 同時

平成 28 年 6 月 24 日（金）
あいち産業科学技術総合センター
共同研究支援部シンクロトン光活用推進室
担当 加藤、野本、中西
ダイヤルイン 0561-76-8315
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 青山、田口
内線 3388、3381
ダイヤルイン 052-954-6347
公益財団法人科学技術交流財団
あいちシンクロトン光センター ユーザー支援室
担当 渡辺、村木
電話 0561-76-8330

「あいちシンクロトン光センター成果公開無償利用事業」の 第2回利用課題募集の採択結果及び第3回利用課題募集について

愛知県と公益財団法人科学技術交流財団は、あいちシンクロトン光センターの利用拡大を通じて、本県のモノづくり産業の高度化・高付加価値化を支援するため、「あいちシンクロトン光センター成果公開無償利用事業♦」を実施しております。

このたび、第2回募集の利用課題について、審査委員会において、産業的・社会的重要性や事業化・実用化の可能性等の観点から審査を行った結果、応募のあった全6件の利用課題を採択しましたのでお知らせします。

また、本日（6月24日（金））から7月27日（水）までを募集期間として、第3回の募集を開始しますので、併せてお知らせします。

◆「あいちシンクロトン光センター※¹成果公開無償利用事業」について

通常は秘匿される利用成果の公開を条件として、企業等にあいちシンクロトン光センターの先端計測装置（ビームライン※²）を、無償で利用いただく事業です。県及び科学技術交流財団がこれらの利用課題の成果を広く公開し、あいちシンクロトン光センターの利用拡大につなげることを目標としています。

1 第2回利用課題募集の採択結果について

(1) 採択件数

6件（応募件数 6件）

(2) 採択企業等及び産業分野

(五十音順)

利用企業等	産業分野
株式会社コベルコ科研	自動車、エネルギー（二次電池材料）
阪本薬品工業株式会社	化粧品（保湿剤）
株式会社豊田中央研究所	自動車
豊橋技術科学大学 デンカ株式会社	蛍光体材料
三井金属鉱業株式会社	無機素材・環境
国立研究開発法人理化学研究所 NTTアドバンステクノロジー株式会社 株式会社オハラ 株式会社コベルコ科研	蓄電池

(3) 利用成果の公表

採択を受けた企業等が、あいちシンクロトロン光センターを利用して得られた成果については、平成29年3月中旬に開催予定の成果発表会において、企業や大学の皆様にあいちシンクロトロン光センターの活用事例として公開します。

併せて、科学技術交流財団のホームページに掲載します。

2 第3回利用課題募集について

(1) 利用区分

ア 産業利用

成果公開を条件とする企業の利用課題を対象とします。

イ 産学連携利用

成果公開を条件とする研究チーム(大学、公設試験研究機関等と企業が連携するもの)の利用課題を対象とします。

※いずれの利用区分についても、地場産業(窯業、メッキ、繊維等)の振興に資すると認められる課題、中小企業の課題及びBL8S1、BL8S3、BL1N2のいずれかのビームラインを活用する課題を優先的に採択します。

(2) 利用料

無料

(3) 課題募集するビームライン

ビームライン名	測定手法
BL5S1	硬X線XAFS、蛍光X線分析
BL5S2	X線回折(粉末、薄膜)、硬X線XAFS(透過法)
BL6N1	軟X線XAFS、軟X線光電子分光
BL7U	真空紫外分光、超軟X線XAFS
BL8S1	X線反射率、薄膜表面回折
BL8S3	広角・小角散乱
BL1N2	軟X線XAFS、光電子分光(利用は10月以降)

(4) 募集内容

ア 募集期間

平成28年6月24日(金)から平成28年7月27日(水)まで

イ 募集課題数

3課題程度(1課題あたり6シフト程度の利用) ※1シフトは4時間

ウ 利用期間

平成28年9月1日(木)から平成28年12月27日(火)まで

※土、日、祝日、マシンスタディ日(原則、月曜日)及びメンテナンス等による休館日は利用日から除きます。

エ 利用課題審査と審査結果の通知

- ・応募利用課題について審査委員会による審査を実施します。
- ・審査結果は、採否にかかわらず平成28年8月23日(火)までに通知します。

(5) 応募手続き

ア 利用申込書等の提出

あいちシンクロトロン光センターに利用相談後、利用申込書等を作成し、募集期間内に下記(6)の提出先に提出してください。

また、利用後には、成果報告書の提出が必要となります。

イ 提出方法

E-mail、郵送又は持参。

(6) 提出、相談及び問合せ先

ア 利用申込書等の提出、利用相談について

公益財団法人 科学技術交流財団

あいちシンクロトロン光センター ユーザー支援室

成果公開無償利用事業担当

住 所：〒489-0965

愛知県瀬戸市南山口町 250 番 3 「知の拠点あいち」内

E-mail : aichisr-p@astf.or.jp 電 話 : 0561-76-8330

イ 事業の内容について

あいち産業科学技術総合センター

共同研究支援部 シンクロトロン光活用推進室

電 話 : 0561-76-8315

(7) 募集要項等について

本募集に係る募集要項及び利用申込書等は、あいちシンクロトロン光センターホームページ上からダウンロードできます。

応募にあたっては、必ず募集要項を御確認ください。

募集要項 : <http://www.astf-kha.jp/synchrotron/news/2016-p3.html>

利用申込書等 : <http://www.astf-kha.jp/synchrotron/userguide/download/>

【用語説明】

用語	説明
<p>※1 あいちシンクロ トロン光センター</p>	<p>(公財)科学技術交流財団が整備・運営する、ナノテク研究に不可欠な最先端の計測分析施設（平成 25 年 3 月オープン）。</p> <p>産業利用を主目的とし、隣接する「あいち産業科学技術総合センター」（運営主体：愛知県）が備える高度計測分析機器との相互利用によって、地域企業の技術的な課題解決を強力に支援する。</p> <p>なお、シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく（通常の計測装置の千倍から百万倍）、1 台の装置でマイクロ波、赤外、可視、紫外から X 線まで連続した波長の光を出すことができ、この光を利用して様々な計測・分析を行う。</p>
<p>※2 ビームライン</p>	<p>シンクロトロン光を用いて計測分析を行う測定装置。あいちシンクロトロン光センターでは、測定手法別に合計 8 本（うち 1 本は名古屋大学が設置）を供用している。測定するもの（試料）に合わせたビームラインを利用することにより、多種多様な分析を、汎用機器と比較して短時間かつ高精度に行える。</p>